

第 20 回 大 会 プ ロ グ ラ ム

9:00-	受 付 開 始				7号館 2階
9:30	7号館 2階 201	7号館 2階 202	7号館 2階 211	7号館 1階 101	
	分科会 A 【教育】	分科会 C 【難民】	分科会 E 企画セッション 「支援の公平性と意義～パ ラグアイにおける国際協力 実践を通して」 (横浜国立大学学生) 「学生が『協働』して実施す る国際ボランティア」 (筑波大学・日本マラウイ 学生団体)	分科会 F 企画セッション 「ボランティア学研究 の(未来)を読む」	
10:30					
10:40	分科会 B 【ジェンダーと開 発・マイノリティ】	分科会 D 【開発援助・ 国際協力・NPO】			
11:40					
11:45	総 会				7号館 1階 101
12:15	昼 食 交 流 ・ 意 見 交 換 会 「パラグアイにおける国際協力プロジェクト展示会 & パラグアイハーブ演奏」				ポルティ 学内 レストラン
13:50					
シンポジウム					
「学生とともに紡ぐわたしたちの未来」 於：7号館 1階 101					
「教育とICTの可能性」「多文化共生・難民」「社会企業/起業」「NPOの未来」「ジェンダーと開発」					
一部	14:00-14:10 主旨説明：藤掛洋子横浜国立大学教授・大会実行委員長				
	14:10-14:30 基調講演 アスンシオン国立大学カルロス・ペリス教授				
14:00	14:30-14:40 A 教育：狩野剛 JICA/宮崎大学客員教授、松永・妹尾（横国）				
-	14:40-14:50 B 多文化共生：堀江正伸武庫川大学教授、林・久保田（横国）山本・今泉（筑波）				
15:20	14:50-15:00 C 社会企業/起業：山口洋典立命館大学准教授、佐藤・渡邊（横国）大久（筑波）				
	15:00-15:10 D NPOの未来：桑名恵近畿大学准教授、齊藤・松岡・鈴木（横国）小林（筑波）				
	15:10-15:20 E ジェンダーと開発：藤掛洋子横浜国立大学教授、佐藤・平川・武藤・坂田（横国）内野・喜多（筑波）				
二部					
15:20	A 教育とICTの 可能性 7号館 2階 201	B 多文化共生・ 難民 7号館 2階 202	C 社会企業/ 起業 7号館 2階 203	D NPOの未来 7号館 2階 210	E ジェンダーと 開発 7号館 2階 211
16:30					
16:30	ディスカッションの共有と総括 (25分)				7号館 1階 101
16:55	《閉会の挨拶》学会長 中村安秀（甲南女子大学教授・大阪大学名誉教授）				7号館 1階 101

7号館2階 201 教室

分科会 A 「教育」

(9:30-10:30)

【座長：澤村信英】

- 09:30 A01 深尾幸市（大手前大学）
フィリピンのローカルカレッジへ蔵書寄贈-Rogationist College の事例から -
- 09:45 A02 山田 恒夫（放送大学）
共同発表者：内海成治（京都女子大学）、川嶋辰彦（学習院大学）中村安秀（甲南女子大学）
国際ボランティア学関連オンラインコースにおける遠隔グループ学習の実践
- 10:00 A03 小川未空（大阪大学大学院博士後期課程／日本学術振興会特別研究員）
現代ケニアにおける中等学校設立の動態—ハランベ—期との比較から—
- 10:15 A04 市川享子（東海大学健康学部健康マネジメント学科）
シティズンシップ教育の意義をどのように評価するか？ —英米の比較から—

分科会 B 「ジェンダーと開発、マイノリティ」(10:40-11:40)

【座長：小川寿美子】

- 10:40 B05 田中志歩（香川大学大学院教育学研究科修士課程）
住民によるノンフォーマル教育学校運営の現状と課題
—バングラデシュ小規模少数民族クミに焦点を当てて—
- 10:55 B06 綿貫竜史（東京外国語大学大学院総合国際学研究所）
世帯内意思決定への女性の関わり方 - バングラデシュ都市スラムで観察された女性の家計行動の事例から -
- 11:10 B07 赤瀬章（同志社大学総合政策科学研究科）
共同発表者：山口洋典（立命館大学サービスラーニングセンター）
当事者研究される側とする側との分断に関する一考察～拠点での活動と日常の生活との乖離へのまなざし～
- 11:25 B08 高桑郁子（横浜国立大学大学院都市イノベーション学府博士後期課程）
炊き出し会場にて実施されるホームレス状態の人に対しての医療・生活相談の現状と課題

7号館2階 202 教室

分科会 C 「難民・支援」 (9:30-10:30) 【座長：林薫】

- 09:30 C09 藤山美津（大阪大学人間科学部国際協力学3年）
トルコ都市部のホストコミュニティにおけるシリア難民の排除と包摂
- 09:45 C10 久保田麻友（大阪大学大学院人間科学研究科）
ロヒンギャ難民が運営する学習センターの役割-クアラルンプール近郊における事例から-
- 10:00 C11 ガラーウィンジ山本香（上智大学／日本学術振興会特別研究員）
学校がつなぐ難民のボランティア性-トルコに避難したシリア難民生徒の取り組み-
長瀬 健吾（早稲田大学人間科学部）
- 10:15 C12 共同発表者：岩垣穂大（早稲田大学人間総合研究センター）鈴木大介（早稲田大学人間科学部）、齋藤篤（早稲田大学人間科学学術院）扇原淳（早稲田大学人間科学部）
子ども食堂の持続可能な運営方法に関する研究

分科会 D 「開発援助・国際協力・NPO」 (10:40-11:40) 【座長：堀江正伸】

- 10:40 D13 山田翔太（立命館大学大学院国際関係研究科博士後期課程）
飲料水源の開発援助と村民による運営-バングラデシュの放棄されたパイプラインを事例に-
- 10:55 D14 宗田勝也（同志社大学）
共同発表者：山口洋典（立命館大学サービスラーニングセンター）
グローバル化と相即するコミュニティラジオの可能性：
～偽装と棄却される人々を犠牲としないために～
李光赫（梅光学院大学）
- 11:10 D15 演技を通じてつなげるボランタリーアクション-タイ北部ミェン族とタイ西部サケオ県での事例から-
- 11:25 D16 楯晃次（国際協力 NGO センター(JANIC)）
共同発表者：松尾 沢子（国際協力 NGO センター(JANIC)）
多様化する国際協力 NGO とソーシャルセクターの調査

7号館2階 211 教室

分科会 E 企画セッション 「学生たちの国際協力」(9:30-11:00)

【座長：藤掛洋子】

五十嵐大地 (横浜国立大学都市科学部都市社会共生学科)

共同発表者：石原佳歩、木村駿、並木優貴 (同大学同学部同学科)

09:30 E01

カルロス・アバロス (横浜国立大学大学院都市イノベーション学府)

藤掛洋子 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究心／都市科学部)

支援活動の公平性と意義：パラグアイにおける国際協力の活動を通して

10:00

コメンテーター：カルロス・ペレス (アスンシオン国立大学) (通訳三島玲子)

山本在 (筑波大学社会・国際学群国際総合額類)

共同発表者：川口純 (筑波大学人間系教育研究科)

10:10 E02

学生が「協働」して実施する国際ボランティアマラウイ共和国で実施した活動を事例に—

10:40

コメンテーター：河内久美子 (横浜国立大学国際推進機構)

10:50

ディスカッション

7号館1階 101 教室

分科会 F 企画セッション「ボランティア学研究 (の未来) を読む」(9:30-11:30)

山口洋典 (立命館大学)・高橋真央 (甲南女子大学)・桑名恵 (近畿大学)・

9:30 D13

玉城直美 (沖縄キリスト教学院大学)・阿部健一 (総合地球環境研究所)

・竹端寛 (兵庫県立大学)